（大正八年二月七日第三種郵便物認可）

十七日刊

磐城時報

▲日刊（日曜、祭日）休刊
廣告料一行十四字詰金五十錢
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
發行所　磐城時報社
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人　福島縣石城郡平町紺屋町十四

現在の狀態から見た 平町會の分野

愈々二十一日に開く 平町初町會

平町會議員に當選した鈴木光吉氏は十五日に至り漸やく認可され平町役場には十七日正式に認可の指令が送達されたので當局では來る二十一日午前十時から初町會を開く事となつた、當日は平町土木委員推薦の件外八件を提案する由で既報した平町會議員選擧異議申立その他際物二三件が協議される模樣で新任議員の初町會として華々しい場面が見らるゝものとして傍聽者も以外に多い見込みである、町會議員は當日の審議に先だち各派とも種々劃策中のものゝ如く現在の平町會分野を見ると民政黨系と見るべき議員は佐藤岩次郎淺川淺次郎、武田元之助、櫻井清、野崎滿藏、萩原義雄、吉田五平、柳下元吉、馬目雅治、吉村安次郎、永山富廣、吉田寅之輔の十二名で純政友會系として結束を固めてゐるのは井上茂作、佐々木龍若、高橋龜松、千葉彦治、國府田直良石山治三郎の六名である、以上の外所謂平町政のキャスチンボードを握るものと言はれてゐる中立組議員に兩派は何れも政友會系統の人々であるが、一方は青沼鋒太郎氏の幕下大森勇、根本品藏、齋藤敏實緑川喜三郎、花澤兎五六等各氏より成る一新會、もう一派は猪狩庄平氏を頭とする坂本隆藏、關內正一、鈴木光吉、馬目武之助、荒川恒次郎各氏より成る實業會である、平町會議員の分野斯くの如くであるが、以上は現在の狀態で問題が勃發する度毎に去就が千變萬化する輩の現はれる事は火を見るより明らかであらう。

小名濱町議 けふ改選

立候補二十名

石城郡小名濱町會議員選擧はいよいよ今十七日執行されるので十八名の定員に二十名の立候補者あり猛烈を極めてゐるが民政黨では去る十五日午後七時から同町劇場に於て政見發表の演說會を開催した。

大衆黨から 一二名立候補

好間村議戰に

過般石城郡內郷村議改選は日本大衆黨から一名を擁立せしめた無慘の敗をとつた石城支部では來る二十六日執行する好間村議選擧に於て內郷村の雪辱戰をなすべく各幹部が好間村支部に集れてゐるが大衆黨としても同支部から立候補せしめ再び無慘の敗を見ざる樣に全力を傾倒し猛烈な運動をする筈である、なほ社民黨でも一二名の候補者を擁立すとつて現在最も堅壘を誇つてゐるらしい。

坑夫の募集には 職業紹介所を利用

常磐各炭礦傾嚮

常磐各炭礦では從來坑夫の募集は多く募集員の手に依つて行つて居たが募集員の手に依つて來る坑夫は何づれも性格粗暴であり仕事も怠け勝ちで炭礦でも手を燒いて居るので現在では各炭礦とも出來る限り募集員を廢し職業紹介所の手を經る方針を取り大日本炭礦の如きは絕えず東北六縣職業紹介所に依賴して居るが入山磐城兩炭礦も最近は公設職紹を利用して居りその他の炭礦では從來坑夫の募集も漸次大炭礦に倣らつて職紹利用が多くなつたところが炭礦の如きは常に多人數が移動して居ることゝて職紹に募集を依賴しても直に炭礦の要求すゝだけの人員が揃はぬ不便があるため各炭礦とも炭礦專用の職紹が必要であると目下盛んに論議されて居るから各炭礦が全部職紹を利用することになれば或は將來炭礦專用の職紹が開設されるのではないかと見られて居る。

飯野の伊藤兼吉氏 當選無効と確定

村會大多數を以て

飯野村會議員に當選した伊藤兼吉氏に對し同村會議員福木福松氏外一名が伊藤氏の居住地が平町で飯野村でないといふ理由で當選無効を主張したので十五日村會を招集し協議の結果大多數の贊成を得て伊藤兼吉氏の當選無効が確定したその理由は伊藤氏は三年前から平町白銀町に住居し飯野村には家を有せず租稅を納付せず當然選擧權を有してゐないといふにある、之に對し伊藤氏は縣參事會に對し飯野村會の決定に對し異議の訴願を提出する由である。

▲水戸鐵道勝つ

水戸鐵道對オール平野球試合は十六日平町磐中球場で擧行したが五對一、磐中との試合は八對一で何れも水戸鐵道が大勝した。

大浦倉庫 米共同販賣

大浦村農業倉庫では六月十五日定期共同販賣を行つたが、當日の出品は三百五俵で價格は一等一俵二十四圓八錢、二等二十三圓六十八錢、三等二十三圓二十八錢、四等二十二圓七十二錢、五等二十一圓八十四錢で平町米穀商神谷寅五郎氏が買受けた。

佐々木氏落選問題で 土木請負業者の紛糾

聲明書を發表して

十六日圓滿に解決

過般行はれた平町會議員選擧に當り土木請負業者が擁立した佐々木健一郎氏が落選したため社會では土木請負業者の結束を疑ふに至つた事既報の如くであるが、組合員中荒川銀治氏がその當時情義に欠けた行爲をなしたとの問題あり、佐々木健一郎氏も內心不滿の念を抱き過般組合に對し脫退屆を提出するに至つたので組合は遂に分裂し兼ねまじき狀態になつたので幹部は大いに狼狽し十六日夜平町田町丸新館に於て總會を開き善後策協議の結果荒川銀次氏をして佐々木氏に謝罪せしめ佐々木氏に脫退せしめざる事となり左の如き聲明書を發表して圓滿に解決した。

聲明書

我々平土木請負業聯合して這般の町會議員候補者に推薦せる佐々木健一郎君の戰敗は同志の結束の足らざるに原因するものゝ如く將た又裏切り者の現はれたるに依るかの如き流言を放つ者あれども其の根源何れにあるも同業者一同が不德の責を負ひ佐々木君に對し衷心申譯なき事を披瀝して御諒解を請ふものなれども一面荒川銀次君の選擧當日よりの行動は情儀に悖る處あり我々は之を遺憾とし他迄糾彈して止まざる者なり、然れども同業以外者にて今回の經緯を憂慮恨し其間の消息を水に流し苦衷と御不滿とあるべき佐々木君には寬厚なる量を示され、一方荒川君も不合理的行動は佐々木君並に同業者に謝し以て益々同業者一同親和し斯業の進展に協力し親厚の情誼を誓ふものなり

平土木請負業組合長　前澤文太郎

▲理髮講習會

平町理髮業組合では十七日午前八時から平警察署樓上に於て定期講習會を開き實川、星兩醫師の解剖並に細菌に關する講習あり、午前十時から青年研究會員は大浦村新舞子に清遊した。

江名町の 選擧違反

平區裁判所武田、三笠兩檢事は十七日午前平警察署に來り樓上に於て何事か取調べ中であるが仄聞するに江名町に於ける選擧違反事件らしく擴大するものと察せられてゐる。

原町通信

大甕村議 無効問題

激烈を極めたる選擧の余波として開票後の問題は何處とも相當紙面を賑わし居るが大甕村も例に洩れず落選議員早川榮治氏より當選議員新川久太郎氏を相手取り同氏は原町に大商店を有し現在營業中にて大甕住民にあらずと云ふ理由の下に同氏は當然失格者なりとの訴願を提起せるやにて果して如何に展開するか注目に價すとなし論議されつゝあり。

▲原町初町會

新機一轉せる原町初町會は其間種々の事情の下に甚だしく延滯せるが來る十八日愈々開會の運びに到れるが三件に涉る無効投票の訴願あり町長不信任案相當重要案件ある筈にて傍聽者多數の見込なり。

雜報一束

▲十六日開催の相馬郡敎員庭球大會は相農校庭に於て擧行せるが優勝旗は小高尋常高等小學校に對し脫退屆を提出するに至つたので組合は遂に分裂し兼ねまじき狀態になつたので幹部は大いに狼狽し十六日夜平町田町丸新館に於て總會を開き善後策協議の結果荒川銀次氏をして佐々木氏に謝罪せしめ佐々木氏に脫退せしめざる事となり左の如き聲明書を發表して圓滿に解決した。

▲石神村の初村會は來る廿日開會せる事に決定せるが水害工事及び組會議員出納立會人等の選擧ある筈。

▲原町落選議員岡和田甫氏の慰安會は政友幹部派の發起にて十六日午後六時より原町仲野屋に於て開催せり。

▲四倉の歌舞伎

四倉座では十八日より東京歌舞伎市川壽美十郎、中村時助一行約七十余名の大一座で開演する筈で前人氣を呼んでゐる。

▲四倉町の賊

四倉町字本町東通り元草野驛長武内氏宅に十五日夜窓口より一人の賊忍び入り現金其他衣類數点を窃取した者あり四倉署で犯人捜索中である。

▲四倉繭取引

四倉繭市場十六日取引左の如し。

白繭千九百二十四貫最高八圓三十一錢最低五圓七十錢平均七圓八十錢

黄繭百八十五貫最高七圓六十四錢最低七圓二十五錢平均六圓四十八錢

俳句片々 (七)

曲水句帖六月號

× ×

曲水句帖、六月號、渡邊水巴先生選を一瞥したが、沐冠人氏の如き宏漠な句が文學的に見た型がある、峻峰、虎郎、處々草一路氏の如き正派の型もあり杏錢子、犀涯氏等の月並派の型もあつた、文學派は隨分見受けられたが正派は余り振はなかつた樣である、月並調一派は仲々根强く句帖に深く喰ひ込んでゐました。

沐冠人氏の句は大きく頷かれ杏錢子氏の句の行動は微妙に動いて遜色なく、草一路氏の沈着な態度にて臨んだ事は實に堂に入つた名吟や、處々氏の句意は本質を現はしてあり、六月號の駄氣焔々な句帖が持つ唯一の巨彈であり、收獲である。

大空に牛の聲聞く枯野哉

吐逸

仲々侮り難いが、「大空に」俗味が此處に存在し、別語に用ひたればと感じました。中には福島の碧川子氏の

戀田螺並び歩める泥田哉

無格好な殼を背に負ふて田の畦の泥水に棲んでゐる、一塊の無音動物の田螺が、戀の相手と泥田の中を愛の行進曲と洒落たとは仲々人間も及ばない艶物語りである、泥田は汚ない處だが田螺にとつは眞社會である、その社會で常に生存を營んでゐるのである、田螺とても同性な動物であり。彼とても飲食生活のみでなく其半面には性慾生活も相伴つてゐる。

年頃になつた田にしが、戀の樂園(泥田)を散歩でもしてゐる姿で氣取つてを歩むと云ふ譯であらうが、仲々に滑稽でせう、擬人体から出た諧謔、滑稽体から出た擬人法、本號が持つ唯一ユウモアー俳句である。總意的な擬巧に生き、生意氣な田にしの道行とはよく握つて愛嬌があつて面白味が充分である。

▲訂正申込 六月十六日發行第四六二五號貴紙十五日夕刊雜報欄御掲載の電話受付開始記事中表題架設料四百五十圓とあるは四百三十圓正當其他本文末尾分割納付の項百五十錢とあるも圓正當彼是相違有之一般周知及申込受理上影響する所不尠に付至急訂正方可然御配意相煩度候 平郵便局

驚いた!!!

こうまで安いとは

平・加納活版所の印刷物

名題 尾上菊三郎 音羽多見丸

讀者觀劇券 (此券持參の方は金十錢)

六月十八日より 聚樂館で

大一座

磐城時報社發行

切取線

氷水開業廣告

弊店事蒲鉾製造販賣を開業以來各位の特別なる御引立を蒙り候段厚く御禮申上候夏期中は蒲鉾製造を休み氷水販賣に從事致し候につき何卒御用命御引立の程願上候

平町一丁目(電話一四一番)

電力應用 藤寅

アイスクリーム、ミルクセーキ、みつ豆、あづきアイス、

其他清涼飲料一式 (出前迅速)

生花教授免許狀授與

福島縣平町字仲町 岡田リキ

右者に龍生派池坊生花教授免許狀を授與す

華道家元龍生派池坊生花教授 福島縣平町字六丁目 正木旭松

夏の學生服

丈夫デ型ガ良ク色ノサメヌ夏服ガ澤山揃ヒマシタ……

小學生用

1号	七八才用	90錢
2号	八九才用	1圓00錢
3号	九・十才用	1圓10錢
4号	十一二才用	1圓20錢
5号	十二三才用	1圓30錢

中學生用(極上品)

5号	一年生位	2圓50錢
6号	二年生位	2圓70錢
7号	三年生位	2圓90錢
8号	四年生位	3圓10錢
9号	五年生位	3圓30錢

各學校制定釦ハ15錢高

なかや洋服店

平二丁目 電話二〇三

御禮に併せて

過般近火に際し弊館も類燒せる如く傳へられ種々御芳情を賜りたり候へども右は全くの誤傳にして各位の御庇護により幸ひ類燒を免れ平常通り營業致したり候間何卒御心置きなく倍舊の御愛顧を懇願仕り候

昭和四年六月

平町搔槌小路(電話八四七番)

ライト寫眞館

館主 高田二果

磐城共濟病院組織

内科 小兒科 (院長毎日診療)

院長 醫學博士 難波睦

副院長 醫學士 五十嵐雄二

内科部長 醫學士 中西林藏

外科 内臟外科、整形外科、皮膚泌尿科專門

外科部長 醫學士 氏家重憲

毎日曜手術 醫學博士 桂重次

産婦人科 女子泌尿科

産婦人科部長 醫學士 五十嵐雄二

顧問 醫學博士 川添正道

X光線科 物理學的診療科

主任 醫學博士 難波

衛生試驗所 技師 工藤慶造

衛生試驗所 主任 中西林藏

衛生試驗所 技師 小熊英夫

藥局 藥局長 吉本孝平

本院醫事法制囑託 法學士 岡澤忠治

本院主事 賀澤忠治

衛生試驗所、病氣相談所、救療所(共濟病院内)

◈救療を申込る方は當相談所へ御話し下さい

平南町 電話六四一番

◈人院自炊ノ便アリ ◈看護婦見習募集

磐城 共濟病院

石版印刷

三國屋印刷所

平町鍛冶町 電話五三三番

平町紺屋町

吉田眼科醫院

電話六八番

胃腸

内科 專門

松村醫院

十二指腸虫病 胃性腸病

(平南町 電話一〇七)

梅毒

淋病 婦人病

皮膚病

專門

鰻蒲燒 魚榮

平町南町平舘隣り 電話四二四番

仕出しは迅速配達致します

鳥季節御料理

柳川

舞子井

△共存ト共榮

△簡易ノ金融

△趣味ノ貯蓄

△誠意ト堅實

資本金拾萬圓

磐城無盡會社

△縣内

△何時デモ申込ト即日ニ取扱ヒ

△絶エズ會社ヲ繁榮サスル